

平成30年度
第26回

静岡県図書館大会

◆ 目的

図書館や読書活動の関係者が集まり読書活動の一層の推進を目指して研修し交流を深める。

◆ 開会式・表彰式・情勢報告 9:45～10:40

情勢報告 公益社団法人 日本図書館協会 理事長 森 茜 氏



◆ 対談・諸連絡 10:50～12:45

テーマ「地方自治に対する、図書館を核とした政策提言」

対談 北川 正恭 氏 (早稲田大学名誉教授 元三重県知事)

糸賀 雅児 氏 (慶応義塾大学名誉教授)

◆ 分科会 13:45～15:45

① 図書館サービス

「大切な本、直しませんか？」

～達人に聞く本の修理と手当～

② 図書館サービス

「いま、図書館に求められる高齢者サービスを考える

～地域社会の結びつきとその実践～

③ 子どもの読書活動

「しあわせを伝える絵本

～『くまのがっこう』にこめた思い～

④ 幼児・児童に対するサービス

「絵本の記憶、子どもの気持ち

～大学生のレポートより～

⑤ 学校図書館

「情報センターとしての学校図書館

～情報検索の「道しるべ」パスファインダーの基礎を学ぼう～

⑥ 大学図書館

「これからの大学図書館に期待される研究支援

～オープンサイエンスの時代に求められる大学図書館の姿～

《日 程》

9:20～ 9:45 受 付

9:45～10:40 開会式・表彰式・
情勢報告

10:40～10:50 休 憩

10:50～12:45 対談・諸連絡

12:45～13:45 休憩・昼食

13:45～15:45 分 科 会

平成 30 年 11 月 19 日(月) 9:45～15:45

受付 9:20～9:45 参加無料

静岡県コンベンションアーツセンター **グランシップ**

参加申込締切日：10月19日(金) ※ 第3分科会は11月9日(金)

主催：静岡県教育委員会・静岡県図書館協会・静岡県読書推進運動協議会

※ 対談と第3分科会は、磁気テープと手話通訳・要約筆記があります。(要申込)

対談

「地方自治に対する、図書館を核とした政策提言」

これからの地方自治において、図書館が地域住民に必要とされる機関となるためには、どうあるべきか、「団体自治」と「住民自治」の両面から、お二人の経験にもとづいて議論し、提言していただきます。

北川 正恭（きたがわ まさやす）氏 <早稲田大学名誉教授 元三重県知事>

1944 年生まれ。1967 年早稲田大学第一商学部卒業。1972 年三重県議会議員当選（3期連続）、1983 年衆議院議員当選（4期連続）。1995 年、三重県知事当選（2期連続）。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2期務め、2003 年4月に退任。2003 年4月より早稲田大学政治経済学術院教授。2015 年3月に退任。現在、早稲田大学名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問。「新しい日本をつくる国民会議」（21 世紀臨調）共同代表。2009 年地域主権戦略会議構成員。2011 年より相馬市復興会議顧問。2013 年より長野県政策研究所チーフアドバイザー、新潟州構想検討推進会議顧問。

糸賀 雅児（いとが まさる）氏 <慶應義塾大学名誉教授>

1954 年生まれ。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。慶應義塾大学文学部助手、助教授、教授を経て、2017 年3月に同大学を定年退職。専門は、図書館政策論、図書館経営論。この間、中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員、文部省大学設置・学校法人審議会専門委員、文部科学省これからの図書館の在り方検討協力者会議副主査、文化庁文化審議会著作権分科会専門委員、国立国会図書館活動実績評価に関する有識者会議座長、東京都立図書館協議会副議長、鳥取県政アドバイザー・スタッフ、日本図書館協会認定司書事業委員会委員長、同認定司書審査会審査委員、新静岡県立中央図書館整備の検討に関する有識者会議会長などを務める。

各分科会のテーマ及び概要

< 第1分科会 図書館サービス（定員120人）>

「大切な本、直しませんか？ ～達人に聞く本の修理と手当～」

講師 ^{しんの} 眞野 ^{せつお} 節雄 氏（日本図書館協会資料保存委員会委員長）

大切な本が傷んでしまった時、「きれいに直すことができればいいな」と思ったことはありませんか？

資料保全専門員として、東北の大津波で被災・水濡れした貴重な郷土資料をも修復・救済した眞野氏から、その手法を学びます。

< 第2分科会 図書館サービス（定員400人）>

「いま、図書館に求められる高齢者サービスを考える ～地域社会の結びつきとその実践～」

講師 ^{どんかい} 呑海 ^{さおり} 沙織 氏（筑波大学図書館情報メディア系教授）

講師 ^{すずき} 鈴木 ^{たからみ} 崇文 氏（名古屋市山田図書館奉仕係長）

高齢化が進む現在、高齢世代と高齢者を支える地域社会から図書館は何を求められ、何ができるのかを考えます。前半は筑波大学の呑海氏に超高齢社会における図書館が担うべき役割を、後半は名古屋市山田図書館の鈴木氏に高齢者を対象とした音読教室の事例をお話ししていただきます。

< 第3分科会 子どもの読書活動（定員500人）>

「しあわせを伝える絵本 ～『くまのがっこう』にこめた思い～」

講師 あいはら ひろゆき 氏（絵本作家）

子どもから大人まで幅広い世代に愛される『くまのがっこう』。子どもの魅力的な姿を表現するくまのこたちは、絵本だけでなく、映画やアニメなど、様々な場面で活躍しています。原作者のあいはらひろゆきさんに、絵本にこめた熱い思いを語っていただきます。

< 第4分科会 幼児・児童に対するサービス（定員180人）>

「絵本の記憶、子どもの気持ち ～大学生のレポートより～」

講師 ^{やまぐち まさこ} 山口 雅子 氏（元学習院女子大学非常勤講師）

子どもたちは絵本をどのように楽しんでいるのでしょうか。大人が忘れてしまった「子どもと絵本の関係」を探るべく、講師が、女子大生に5年にわたって集めたレポートから、子どもたちが絵本とどのように関わっているかをお話しいたします。

< 第5分科会 学校図書館（定員135人）>

「情報センターとしての学校図書館 ～情報検索の「道しるべ」パスファインダーの基礎を学ぼう～」

講師 ^{かんざわ とみこ} 神澤 登美子 氏（荒川区学校図書館支援室学校図書館スーパーバイザー）

大勢に一度に資料提供しなくてはならない学校図書館にとって、パスファインダーは必須のツール。また、子どもたちが主体的に情報検索できる力を育てていくための「道しるべ」でもあります。そのパスファインダーの基礎を体験していただきます。

< 第6分科会 大学図書館（定員70人）>

「これからの大学図書館に期待される研究支援

～オープンサイエンスの時代に求められる大学図書館の姿～」

講師 ^{おじろ こういち} 尾城 孝一 氏（国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任研究員）

論文の公開を中心とした機関リポジトリの思想を一步進めた“オープンサイエンス”が国の政策として推進されつつあります。研究データ管理などの新しい役割が求められる中、これからの研究支援のあり方はどう変わっていくのでしょうか。未来の大学図書館の可能性を探ります。

< 会場案内図 >

